

日医発第320号（法安29）F
平成23年7月13日

都道府県医師会長 殿
日本警察医会長 殿

日本医師会長
原 中 勝 征

検案担当医の派遣について 終了のご報告

東日本大震災にともなう検案担当医の派遣につきましては、平成23年3月16日付 日医発1129号(法安95)F をもってご依頼申しあげたところ、全国から100名を超える医師のご応募をいただき心より感謝申しあげます。

実際の検案担当医の派遣に際しては、警察庁からの要請にもとづき、関係団体との調整を図りながら取り組んで参りましたが、発災から4ヶ月を経過し、今後、検案担当医の派遣を要請される見込みはないものと判断いたしました。

被災地域での検案活動に向けて待機いただきました先生方には、大変ご迷惑をおかけいたしました。本信をもって派遣態勢を終了することといたします。

あわせて、検案担当医の募集等にご尽力いただきました都道府県医師会、日本警察医会をはじめとする関係機関、ならびに実際に被災地域において検案活動に従事された先生方には、心よりの敬意を表するとともに、厚く御礼申しあげます。

本会では、東日本大震災にともなう検案担当医派遣活動の総括をとりまとめ中であり、追ってその結果をご報告する予定であります。さらに、今般の活動を通じた経験や教訓をもとに、今後の大規模災害発生時における検案担当医派遣態勢の構築、強化を喫緊の課題として取り組んで参りますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。